

1. 名詞十の十名詞

修飾名詞的语句最简单的是「我的书」这样的以「の」来连接句子的形式。在本章节中我们来看看包含「名詞十の十名詞」的句子。「の」基本上相当于汉语的「的」、但是正如汉语里的「我家」和「窄小的屋子」在日语中成为「私のうち」和「狭い部屋」、有些句子在汉语中不使用「的」、而在日语中却需使用「の」、还有的情形则正与此相反。

① 私と弟の**車**は今、人に貸かしています。

② 友だちの**田中さん**ならその仕事を引き受うけてくれると思います。

★①中「の」表示我和弟弟所拥有的车。②中「の」と①不同、本句中的「友だち」指就是「田中さん」。

③ 日本**の**大**き**さは雲南省**の**大**き**さとだいたい同じです。

④ 7時に駅**の**西口交番**の**前**の**噴水**の**と**こ**ろで待まち合あわせましょうか。

【練習問題1】仿照上面的例文、在下面各句中修飾部分詞句的成分画上線。

① 私の叔父**の**山田太郎はプロ野球の選手だ。

② 日本でいちばん長い川**の**長さはどれくらいですか。

③ 駅**の**東側**の**あの建物たってスポーツクラブになるんですってね。

④ 新聞の発行部数で、ある程度はその国の国民の教育の程度を測ることができるだろう。

⑤ 運転免許の区分は、第一種運転免許、第二種運転免許、仮免許の3種に区分される。

⑥ 明日は兄と私の車くるまで出かけましょう。

1. 名詞十の十名詞

名詞にかかる語句でいちばん単純な形は「私の本」のように「の」で語をつなぐ形ですね。この節では「名詞十の十名詞」を含む文を見ていきましょう。「の」は概ね中国語の「的」に相当しますが、たとえば中国語の「我家」は「私のうち」、「窄小的屋子」は「狭い部屋」というように、中国語では「的」を使わないが日本語では「の」を使う、あるいはその逆という文もありますね。

★①の「の」は私と弟の持っている車を表しますが、②の「の」は①の「の」と異なり、「友だち」＝「田中さん」を表します。

右の例にならって次の文中の□部分にかかる句に傍線を引け。

※ 这个句子可能有两个意思。如果像「明日は兄と、私の車で出かけましょう」这样加入「、」的话，就确实变成了邀请对方（听话人）的句子，即「明天开着我的车和哥哥一起出去吧」。但是在这个句子还存在一种可能是「哥哥和我的车」。在报纸、杂志、小说中经常出现这种不易判断的句子，这种时候要根据上下文来判断。在本课中，只进行单句的练习。

2. 名詞十助詞十の十名詞

- ① 兄からの手紙には試験に合格したと書かれていた。
- ② AチームはBチームとの試合に勝って決勝に進んだ。
- ③ 乗客：「切符を落としちゃったんですけど…」 駅員：「どこまでの切符ですか」
- ④ 私は鈴木さんへの手紙を結局出さなかった。
- ⑤ 研修内容についての質問は歓迎しますが、試験内容についての質問は受け付けません。
- ⑥ 私にとってはこの五年間の外国での経験は大きな意義があった。

【練習問題2】 包括1和2的问题（1、2を含む問題です）

- ① 田中さんは海外赴任を前にして、結局山田さんとの結婚を諦めて別れてしまった。
- ② 来日は私の人生にとっての分岐点だった。
- ③ 人は他の国との比較によって初めて自分の国のことを意識するものである。
- ④ 日本に来たばかりのときは、日本人と中国人との考え方の違いに戸惑うことが多かった。

※ この文は二つの意味の可能性があります。「明日は兄と、私の車で出かけましょう。」というふうには、「が入っていけば、間違いなく「明日は私の車で兄と（一緒に）出かけましょう」と聞き手を誘っている文になります。この問題の文では「兄と私の車」の可能性もあることになり。新聞や雑誌、小説の文の中にはこのように判断に迷う文も出てきますが、そんなときは文脈で判断するようにしましょう。ただし、この課では、一文単位の読み取り練習しかしません。

2. 名詞十助詞十の十名詞

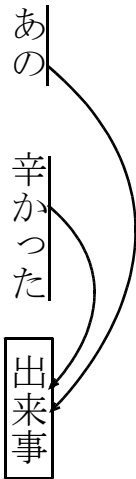
※ 了したばかり（刚刚）

⑤ この道路では、駐車は禁止であるが人の乗り降りのための**停車**はしてもよい。

※例如、在考驾照执照的试题中、象这样的没有逗点的句子很多。很容易使阅读者感到迷惑。这个句子本来应该是加入「、」的句子：「この道路では、駐車は禁止であるが、人の乗り降りのための停車はしてもよい」。我们认为、象这样不容易理解的句子也应该有所掌握、所以在这里特意举出此例。

3. 形容詞十名詞

修飾名詞的成分中、助詞「が」变成「の」的情况较多、所以、在读解的时候要加以注意。并且还有下面这样的例子：「あの辛かった**出来事**（那件痛苦的事情）」。「那件」和「痛苦」分别修饰「事情」。对这类句子也要予以注意。



① それまであんなにおいしい**ケーキ**を食べたことがなかったので、その日はとつてもうれしかった。

② 私のクラスには勉強の嫌いな**子**が多いんです。

③ この資料のほしい**人**は事務室まで取りに来てください。

④ 子どもの頃、将来やりたかった**仕事**は何でしたか。

⑤ 「去年の忘年会会場の、あの安くておいしかった**店**って駅のどっち側だったっけ。」 「南口だよ。」

⑥ 医療費の増加が財政的に余裕のない**自治体**の予算を圧迫している。

⑦ 学習障害児の中には漢字の学習だけが**困難な子ども**やアルファベットの学習だけが**困難な子ども**もいる。

※たとえば運転免許の問題文には、このように読点がない文が多く、読み手を戸惑わせます。この文は本来なら「この道路では、駐車は禁止であるが、人の乗り降りのための**停車**はしてもよい」と、「が」入るべき文です。しかし、このような読みとりにくい文にも慣れておく必要があると思われるので、ここであえて出しました。

3. 形容詞十名詞

名詞にかかる節の中では助詞の「が」は「の」になることが多いので、読み取りの際に気をつけましょう。なお、「あの辛かった**出来事**」のように、「あの」と「辛かった」がそれぞれ「出来事」にかかる場合もあります。このような文にも注意しましょう。